

修習技術者支援委員会活動報告

修習技術者支援委員会
松本 直
MATSUMOTO Nao



1. はじめに

修習技術者支援委員会は、修習技術者(第一次試験合格者、JABEE 認定課程修了者)への修習プログラム及び指針の提供を目的として、修習技術者向けの研修会や学生への技術士制度の説明会などの活動を行っております。

本報告では、令和3年度の修習技術者支援委員会活動報告を行います。

2. 「技術士及び技術士制度説明会」

1) 説明会概要

令和3年12月6日(月)に高知工業高等専門学校において、技術士及び技術士制度説明会を行った。説明会の対象は専攻科生の全専攻(ソーシャルデザイン専攻)の1年生であり、参加人数は、15名であった。

2) 「(公社)日本技術士会四国本部の紹介」

発表者:修習技術者支援委員会 副委員長
横山 成郎 氏

横山氏から(公社)日本技術士会四国本部の紹介として、四国本部の組織概要やビジョン・強み、事業方針の他、各委員会の活動概要について説明があった。



横山氏の発表

3) 「技術士及び技術士制度について」

発表者:修習技術者支援委員会 委員
佐川 徳和 氏

佐川氏から「技術士及び技術士制度」と題して、技術士・技術士制度の説明を行った後、修習技術者の修習のあり方や修習課題とその基本的考え方について説明を行い、技術士第

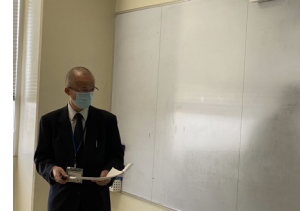
二次試験の概要説明を行った。

また、「技術士資格の活用」として、求められる技術者モデルや実際に組織で活躍する技術士の説明を行った。

4) 「青年技術士としての活動」

発表者:青年技術士交流委員会 委員
中根 久幸 氏

中根氏から自身の技術士としての活動内容や四国本部での青年技術士交流委員会の活動状況について説明があった。



佐川氏の発表



中根氏の発表

また、今回の説明会には、新たに青年技術士交流委員会に加わった黒川氏と伊東氏も参加し、参加者からの質疑に対して自身の経験を説明した。



黒川氏・伊東氏の質疑応答

を説明した。

5) アンケート結果

説明会后、アンケート調査を行い、アンケートは、15名の提出があり、回収率は100%であった。この中で、「もっとよく知りたい・詳しく知りたいと思うこと」について、「企業での活躍や処遇の実態」の回答が最も多かった。この項目について説明会でも補足説明を

行ったが、まだまだ不十分であったと思われる。これは、具体的な活躍の場をもっと知りたいという事の表れではないかと考えられる。今後は、技術士の活躍に関する具体事例を充実させた説明会としたい。

3. 「第45回修習技術者支援セミナー」

1) セミナー概要

令和3年12月17日(金)に修習技術者(技術士第一次試験合格者及びJABEE認定課程修了者)並びに技術士を対象として、Zoomによるオンライン形式での第45回修習技術者支援セミナー(高知県・徳島県)を開催しました。

セミナーは、高知県の(株)第一コンサルタンツをホスト会場として開催し、四国4県に広島県を含む5県から13名(内、修習技術者5名)の参加があった。



ホスト会場でのセミナーの様子

2) 「技術士試験と修習のあり方について」

発表者：修習技術者支援委員会 委員

谷本 陽一(徳島県) 氏

谷本氏から「技術士試験と修習のあり方について」と題して、技術士制度の説明、修習課題と資質能力、修習のあり方及び私の修習事例の講話があった。

谷本氏の講話は、目的が明確であり、わかりやすく構成されていた。また、「私の修習事例」では、「修習課題と資質能力」と関連付けて、実際の取り組み内容を解説されており、技術士第二次試験合格を目指している、修習技術者の方々にとっては、参考になる講話であった。

3) 「質疑応答」

質疑応答は、セミナーに参加している修習技術者の方をホスト側より指名して実施した。

質疑では、「試験対策として大切なことは何でしょう」、「4年後の試験に向けて具体的な修習のあり方はどの様にすればよいでしょうか」といった内容であり、それぞれの質疑に対して、谷本氏や他の参加者から回答があった。



質疑応答の様子

4) アンケート結果

本セミナーは、オンライン開催であり、アンケートを直接回収することができないため、Google フォームを利用し、セミナー後、Webサイトからアンケートに回答して頂く方式を採用した。アンケートは、11名の方から回答があり、回答率は、84%であった。(重複回答を除く)

アンケートの回答は、「セミナー参加の目的の達成度」について、達成されなかったという回答はなく、「技術士制度の理解」についても、理解できなかったという回答はなかったことから、本セミナーの目的は一定達成できたと考えられる。

四国本部では、オンラインでの修習技術者支援セミナー開催は、初めての試みであり、関係者による事前打合せ(オンライン開催)を行うなど、開催までの手間を要した。しかし、開催場所の地理的制約がなくなるため、四国4県からの参加が可能であり、セミナー開催の周知を徹底し、修習技術者にとって有用なコンテンツを提供することにより、今後のセミナー参加者の増加を期待できると思われる。